

第85回「ハートミーティング」意見交換の内容について

上下水道局 夏休みイベント「蹴上浄水場で自由研究」 プロジェクトチームのメンバー

★市長からのコメント

- 皆さんの取組は、人に刺激を与え、深いところで楽しかった、面白かったと思えるような、人に興味を与える取組である。大変すばらしい。
- 今後の活動の中で、「水」についてだけ伝えるのではなく、「水」が与える「環境への負荷」も含めて、子どもたちへ伝えてほしい。子どもたちへ「環境」のことも含め伝えることで、未来の環境を守ることに繋がる。子どもたちは、分からないだろうと伝えないのではなく、子どもだからこそ伝えるということを実践してほしい。
- 目の前の仕事に誠心誠意エネルギーを注ぐと同時に、部署を超えたチーム上下水道局として志高く、活動していただいている。水は低いところに流れるが、人は皆さんのような志高い組織やグループに集まる。今後も志高く、熱意を持って活動をしてほしい。
- 水道は、人の暮らしを豊かにする。世のため、人のために水がある。環境、人の暮らし、未来を担っているのが上下水道局の仕事である。水を通じて、京都市の未来に責任を持つ、それくらい大きな意識をもって日々の仕事に取り組んでほしい。

★参加メンバーからの主な声

- 水道水はミネラルウォーターと比較してコストとが低く、またミネラルウォーターのペットボトルはごみとなるため、水道水を飲むことは環境への負荷を抑えている。子どもは成長して大人になるため、子どもだから分からないだろうではなく、子どもにこそこういった環境保護への意識を学んでもらうという話が印象的だった。
- 水道は単なる水の道ではなく、過去から引き継いで未来につなげていくものなど自分にはない知識や視点を知ることができ、とても刺激を受けた。また、グループのメンバーの意見を改めて聞くことができ、非常に有意義だった。
- 水は体の中に入っていくものであるため、人間が生活するうえでの基礎づくりに対して、貢献している仕事についていることに自負すべきと指摘いただいたことがとても印象に残っている。仕事に対する責任感を改めて感じた。
- 市長に報告するような機会は初めてだったので、緊張したが、良い経験になった。市長の御意見を今後の業務の参考にしていきたい。